

平成 30 年度 北海道新エンジンシステム研究会

第 2 回研究会 議事録

日時

2018 年 11 月 20 日（火） 16：30～18：20

場所

北見工業大学 多目的講義室
（北海道北見市公園町 165）

講演題目・講師

- 岡山 紳一郎 様（日産自動車）
1. 自動車からの新たな排出物計測
 2. モータースポーツの経験と自動車工学

参加人数

95 名（北見工大学生を含む）

共催・協賛団体

北海道新エンジンシステム懇話会，自動車技術会北海道支部

講演内容

1. 我が国の大気環境の現状について計測データを基に解説いただいた。PM2.5 については中国大陸からの移流の影響が強く，近年の PM2.5 の低減は中国・北京の大気環境改善の寄与が高いとのこと。また，今後の大気環境の課題は PM2.5 の二次粒子とオキシダントであり，これらの生成には大気反応が伴うため，大気反応を解明して適切な発生源対策を行うのが肝要とご説明いただいた。さらに，ガソリン性状と排出ガスの関係やブレーキ粉塵・タイヤ粉塵の排出実態の把握，これら粉塵の PM2.5 に対する寄与度の試算など，幅広い観点からリアルワールドの PM について，ご自身の取り組みに基づき解説いただいた。
2. モータースポーツで速く走るためのテクニックやレース用車両の改造ポイント，クラッシュや部品破損の要因等について，ご自身の経験と実際に乗られているレース用車両を題材として具体的に紹介いただいた。なお，プレミアムガソリンについてはメーカー毎に特徴があり，レースに適するメーカーがあるとのこと。そして，最後に学生に向けて，様々なことに疑問を持ち，自分の頭で考え，物事に対しいかに付加価値を付けられるかが社会人として大切とのお話をいただいた。

以上